

志木第二小学校内への新設保育園整備に対する ご理解とご協力について

—平成 29 年 7 月—

市では、次代を担う子どもたちの健全な育ちと、昨今の待機児童問題解消とともに、子育て世代の定住や若い世代の流入を促進していくため、子育てしやすい環境づくりの一環として、志木第二小学校の敷地の一部を活用した新たな民間保育園を整備していきます。

1. 経緯

市では、平成 25 年度より老朽化が進む館保育園の今後のあり方について、公共施設マネジメントの視点や将来的な保育需要等を踏まえながら、施設のあり方を検討してきました。

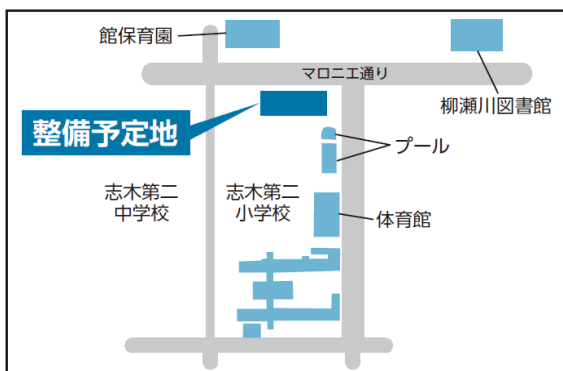
その結果、平成 29 年 1 月に館保育園は「民営化により保育を継続」とする方針を決定し、あわせて昨今の待機児童問題に加え、現在、国が推し進めている「一億総活躍社会」の実現に向け、これまで以上に保育に対するニーズが見込まれることから、新たな保育園の整備が必要と考えたところです。

2. 整備場所などの検討

新たな保育園を整備するために一定規模の敷地を確保するためには、空き店舗や公園敷地の活用のほか、学校の余裕教室を利用するなど、本市の限りある有効な資源を活用することをテーマに、さまざまな検討をしてきたところです。

その結果、法的な規制や費用面での妥当性ととも、保育と教育の連携、いわゆる「小1プロブレム」といった新たな課題や地域の活性化など、将来に向けた本市の課題への対応も含め、志木第二小学校の敷地を活用していくことが、もっとも有効であると判断したところです。

《配置図》



3. 整備にあたっての考え方

予定敷地内にある樹木や運動器具等については、どれも子どもたちの貴重な教育資源として捉えており、可能な限り移植や移設することを前提としていますが、やむなく削減されてしまうものについては、改めて代替となる機能の整備について検討していきます。

特に志木第二小学校の樹木は、学校のみならず地域の皆様の協力のもと、育まれてきたものであることから、可能な限り既存の樹木を生かしながら整備を進めてまいります。

4. 館保育園の今後について

現在の館保育園については、平成 30 年度まで公立保育園として運営し、平成 31 年度に民間事業者による施設の改修を経て、平成 32 年度からは民間事業者によって保育園の運営を開始する予定です。

なお、館保育園の改修工事では、工事に伴う騒音や粉塵の発生、空調が使用できなくなる等の理由から、園児が在籍したままでの工事は困難であるため、志木第二小学校の敷地内に新設される保育園を、現在、在籍する園児の受入れ先としていきます。

最終的には、定員 80 人程度の民間保育園が 2 園整備されることで、待機児童対策や市内で最も高齢化率が高い館地区の活性化とともに、駅に近く通勤に便利な立地から、市内全域の保育ニーズに応じていくものと考えています。

5. 整備に向けてのスケジュール

平成 29 年 6～7 月（初旬）…学校・PTA・地域等への説明

平成 29 年 11～12 月…保育園の運営事業者の募集・選定

平成 30 年 4 月～…新規保育園の設計・建築工事

平成 31 年 4 月～…新規保育園開園（民設民営）

旧館保育園の設計・工事

平成 32 年 4 月～…旧館保育園リニューアルオープン（民営）

